

児童生徒へのていねいな実態把握から見えてくる支援



今年度の特別支援教育の能力開発研修 2 講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当初の計画から実施形態や会場を変更して開催しました。来所とオンライン受講の併用での開催となりましたが、多数の方にご参加いただきました。

[1215] 特別支援教育専門講座

～読み書きに困難さのある子どもの
理解と支援～

9/9（木）島根県教育センター
島根県教育センター浜田教育センター

今年度の「特別支援教育専門講座」は～読み書きに困難さのある子どもの理解と支援～をテーマに行いました。

廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイザーの山田充氏を講師に、講義と演習を行っていただきました。午前中は、読み書き障がい、書字障がいの特徴、基礎的な理論についてご説明いただくとともに、アセスメントをしっかりと行い、背景要因を考えることの重要性についてお話をいただきました。午後は、具体的な指導内容、アセスメントの方法、そこからどのような要因が読み取れるか等、演習を交えながら説明がありました。

アセスメントを丁寧に行い、そこから支援を始めていくことで、児童生徒の成功体験を増やしていく、実態に合った支援を進めていくことで、課題の解決が見えてくるということでした。年齢段階によっては、そういった支援だけではなく、違ったアプローチを検討していくことも必要になってくると思います。



アセスメントを丁寧に行い、そこから支援を始めていくことで、児童生徒の成功体験を増やしていく、実態に合った支援を進めていくことで、課題の解決が見えてくるということでした。年齢段階によっては、そういった支援だけではなく、違ったアプローチを検討していくことも必要になってくると思います。

[1068] 児童理解と支援講座

～子どもの願いに寄り添うための
教師の基本姿勢～

10/1（金）島根県教育センター
島根県教育センター浜田教育センター

大阪医科薬科大学 LD センターオプトメトリストの奥村智人氏を講師に、～通常の学級等における読み書きにおける特別な支援を必要とする子どもの困難さの理解と支援について～をテーマにお話しいただきました。

見えている困難さが同じでもその背景にある原因は子ども一人一人異なっているということから、実態把握の重要性についてお話しいただきました。また、演習を取り入れながら、実態把握をする際の見る視点や支援方法、関連動画などたくさんの情報も示していただきました。

小・中・義務教育学校・高・特別支援学校の各校種の教職員の方々にご参加いただき、受講者のみなさんには、それぞれの立場に合わせて考えていただくことができました。途中でチャットによる質問タイムも設け、合理的配慮などについても共有することができました。



(研修の様子)